

国語教育について

1. 教育課程の基準の改善の基本方針（平成10年7月 教育課程審議会答申）

小学校、中学校及び高等学校を通じて、言語の教育としての立場を重視し、国語に対する関心を高め国語を尊重する態度を育てるとともに、豊かな言語感覚を養い、互いの立場や考えを尊重して言葉で伝え合う能力を育成することに重点を置いて内容の改善を図る。

2. 学習指導要領の改訂の概要

（小・中学校：平成10年12月改訂、高等学校：平成11年3月改訂）

上記の改善の基本方針に基づき、国語科については、具体的に次のように改訂。

（1）目標の改善

小学校、中学校及び高等学校を通じて、互いの立場や考えを尊重しながら言葉で伝え合う能力の育成を重視して、新たに「伝え合う力を高める」ことを目標に位置付け。

（2）領域構成の改善等

領域構成については、話すこと・聞くこと、書くこと、読むことの能力が調和的に育成されるよう、従来の「表現」、「理解」及び「言語事項」の2領域1事項での構成を改め、「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」及び「言語事項」の3領域1事項で構成。

(3) 実践的な指導の充実

指導内容と言語活動の密接な関連を図り、児童生徒の主体的な学習活動を重視しながら学習の効果を上げるために、それぞれの校種、学年、領域にふさわしい言語活動例を例示。

(言語活動の例)

	小学校	中学校	高等学校
	日常生活に必要な話す・聞く、書く、読むなどの基礎的な言語能力の育成を重視	社会生活に必要な言語能力を確実に育成することを重視	社会人として必要とされる言語能力を確実に育成することを重視
話すこと・聞くこと	スピーチをすること、調べたことを基に話し合うことなど	- 説明や発表などを行うこと - 対話や討論などを行うこと	- 話題を選んで、スピーチや説明などを行うこと - 情報を収集し活用して、報告や発表などを行うこと
書くこと	手紙を書くこと、記録や報告を書くことなど	- 説明や記録の文章などを書くこと - 手紙や感想などの文章を書くこと - 報告や意見発表などのために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成する	- 題材を選んで考えをまとめ、書く順序を工夫して説明や意見などを書くこと - 相手や目的に応じて適切な語句を用い、手紙や通知などを書くこと
読むこと	読み聞かせ、図書資料を探して読むことなど	- 様々な文章を比較して読んだり、調べるために読んだりすること - 目的や必要に応じて音読や朗読をすること	- 考えを広げるため、様々な古典や現代の文章を読み比べること - 課題に応じて必要な情報を読み取り、まとめて発表すること

(4) 漢字の読み書き

確実に漢字の力を育成するため、児童の学習の実態に配慮して、読みについては学年別漢字配当表（1,006字）で配当されている当該学年で指導することとし、書きの指導については、当該学年では漸次書くようにし、上の学年までに、文や文章の中で適切に使うことができるよう時間をかけて指導。

従前どおり、中学校修了までに、常用漢字の大体を読め、学年別配当漢字表の漢字を書き、文や文章の中で確実に使うことができるよう指導。

(5) 教材

教材についても、話すこと・聞くこと、書くこと及び読むこと的能力を偏りなく養うため、児童生徒の発達段階に即して適切な話題や題材を精選し、説明的な文章や文学的な文章などの文章形態を調和的に取り上げることを明示。

(6) 言語活動の適正化

小学校、中学校及び高等学校を通じて、学校生活全体を通して、言語に対する関心や理解を深め、言語環境を整え、児童生徒の言語活動が適正に行われるようにすることを明示。

(7) 学校図書館の利活用

小学校、中学校及び高等学校を通じて、学校図書館を計画的に利用しその機能の活用を図り、児童生徒の主体的、意欲的な学習活動や読書活動を充実することを明示。

3. 国語力向上に関する主な施策

(1) 国語力向上モデル事業

小・中・高等学校において、家庭・地域の協力を得ながら、児童生徒の国語力向上のため、国語科と他教科及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の充実など総合的な取組を実施。

- ・ 22地域192校（平成15・16年度）を指定

モデル地域・学校においては、国語科の基礎・基本の確実な定着と個に応じた指導の工夫及び教材の開発や、国語科と他教科及び総合的な学習の時間等との関連を図った指導の充実、総合的な国語力の育成（ディベートなどの取組み）、地域の特色を生かした取組（うつくしい言葉の育成）などの実践研究が行われている。

(2) 国語指導力向上講座

小・中・高等学校における教員の国語力向上のための研究協議等を通じて、指導技術の向上を図ることをねらいとして、大学を会場として全国2会場で開催。（各約300人が参加。）

- ・ 東部地区 岩手大学
- ・ 西部地区 奈良教育大学

講座では、表現力、理解力等を育て、伝え合う力を高めるための指導法に関する基調講演や効果的な指導実践例に関する研究協議、国語力向上モデル事業の研究発表等を実施。

(3) 生きる力をはぐくむ読書活動推進事業（読書活動推進地域事業）

児童生徒の読書活動に関し、学校図書館を含めた学校における学習活動、公共図書館の活用、家庭での働きかけなどを相互に連携させながら、学校・家庭・地域社会が一体となった効果的な取組方法について実践的な研究を推進。

- ・ 17府県30地域を指定（平成14・15年度）

(4) 学校図書館活用フォーラムの開催

学校関係者の意識の高揚を図るため、全国3ブロックで「学校図書館フォーラム」を開催し、学校図書館活用や読書活動の促進方策について研究協議、情報交換。